

第210回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日 時：2008年3月24日（月） 13時～17時45分

会場：**東京理科大学薬学部校舎 薬学部1442教室（14号館）** [アクセス](#)
[千葉県野田市山崎2641、電話：04-7121-1501、交通：東武野田線「運河」駅下車]
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります（徒歩7-8分）。
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

講演主題：分離科学における標準化

現在、「標準化」の波が製造業を中心に先進諸国の産業界に急速に押し寄せている。それは「標準化」がモノづくりにおいてコスト低減、効率向上、品質の向上と安定確保などに不可欠だからであり、事実、続々と幅広い領域で世界標準が定められつつある。一方、HPLCを中心とした分離科学では、「標準化」の導入は現状ではそれほど顕在化してはいないが、「標準化」の本格導入は避けては通れない。そこで、分離科学分野に「標準化」の概念が早急に広く普及することを願い、今回は前半で標準化の世界動向、概念、方法、歴史などを解説して戴き、後半でHPLC分野における標準化の最新の展開を紹介して戴く。

講 演

1. 講演主題概説（13:00～13:05）

（東京理科大学薬学部）中村 洋

2. 標準化の世界動向（13:05～13:50）

（（財）建材試験センター、前ISO会長）田中 正躬

3. 標準化の基礎（13:50～14:25）

（（財）日本規格協会）吉田 均

4. 社内標準化と品質管理（14:25～15:00）

（（財）日本規格協会）松本 隆

5. 標準物質とトレーサビリティ（15:00～15:35）

（（財）化学物質評価研究機構）松本 保輔

6. HPLCのバリデーション（15:50～16:25）

（日本ダイオネクス）大河原 正光

7. 試験結果の信頼性の確保—システム適合性試験—（16:25～17:15）

（（独）医薬品医療機器総合機構）小嶋 茂雄

8. 総括：「分離科学における標準化」（17:15～17:45）

（東京理科大学薬学部）中村 洋

LC研究懇談会会員:1,000円、協賛学会会員(日本分析化学会含む):3,000円、その他:
4,000円、学生:500円(当日受付にてお支払い下さい)。

カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

技術・情報交流会

講演終了後、講師を囲んで技術・情報交流会を開催します。会費1,000円。

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご
使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバー
した場合のみご連絡します。)

申 込 先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572、E-mail:hm_tanaka@jsac.or.jp]